



あいさつがよくなったと感じます。あっちからもこっちからも。住吉町の坂を歩く1年生が小さく見えて、手を振ったら気づいてくれました。新年度もよいあいさつを続けたいです。

それぞれの学年の“完成～修了式の話から～

1年生は、学習発表会、「六年生を送る会」と取り組みを重ねるたびに成長し、普段の生活でも、「自分達で気づき話し合っ進めることができる1年生」になりました。

2年生は、自分達でめあてを立て、分担して取り組み、そして振り返りもするという「頼もしい2年生」になりました。

3年生は、音読、ボランティア活動と、何にでも取り組もうとする「やる気のある3年生」になりました。

4年生は、アイディアを出し合い助け合ったり譲り合ったりして「生活を自分達で楽しくできる4年生」になりました。

5年生は、最後の最後まで、1年間のまとめをしようと、あいさつ運動や掃除、石拾いなどに取り組み、縦割り班の班長もやっは「6年生になる準備」ができました。

こうして、みなさんは、4月に今の学年に進んでから、さまざまな取り組みを重ね、自分達でできる力をつけ、「あいさつ・そうじ・ボランティア」を広げ、なりたい自分をめざし、「自分たちの力で、それぞれの学年を完成させた」と言っているでしょう。

いよいよ今年度が終わり、新しい学年に進みます。また、さらに、なりたい自分、創りたい学級・学年をめざして、新たながんばりに向かいましょう。

椅子に座ってしっかりと前を見据えて聞いていました。またまた、よい空気が見えました。

よい空気が見えます 修了式予行から

よい空気です。

きちんと座って、みんなの前を、向いて。

代表の人のもらい方、学級の人立ち方・座り方、一生懸命でよいと思います。先生方は、みなさんには、失敗しないことよりも、一生懸命さをがんばってほしいと思っています。

行儀も、ただ行儀よだけでなく、一生懸命1年を締めくくろうとする気持ちが高まるから、きちんとした姿勢になるのです。

そんなみなさんの気持ちや態度が、みなさんを囲む空気に移っているようで、よい空気がまるで見えるようなのです。

あさっての本番では、1年を振り返って、がんばったことや悔しかったこと、どんなことが自分のためになったかを思い出し、心に刻むことができれば、1年を締めくくることができます。きっと新しい学年につなげることができます。

修了式で自分の1年を締めくくりましょう。

今年も約束しました

「区切りの日」にすること

毎年、修了式の中で子ども達と「家に帰ったら、修了証書をおうちの人にきちんと渡しましょう。」という約束をしています。そして、「一年間ありがとうございました。これからはがんばるのでよろしくお願いします。」と感謝の言葉も言うことにしています。

今日は『区切り』の日です。一つ大人になるのですから、照れくさくても区切りにふさわしい行動をさせたいと考えました。このようなことができる子にしていくことが我々大人の仕事だと思っています。どうか、子ども達の行いを受け止めていただき「立派だね」と声をかけていただきたいと思ひます。よろしくお祈いします

最後まで

外国語

たくさんのことを学んで

6年生が、中学校に向けての抱負を英語で書き、みんなの前で英語で話すという学習をしました。授業の始めのあいさつから英語で、ほぼ“オールイングリッシュ”での授業が行われてきての総まとめです。入りたい部活動や将来の夢などを発表していました。



命の学習

久慈病院の助産師さんをお願いして「命の学習」をしました。お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの鼓動の音を聞かせていただいたり、実際の赤ちゃんの大きさを見せていただいて「小さい」などと驚いたりしながらの



学習になりました。

私たちが生まれてくる確率がすごかった。生まれてくるのは奇跡だと思った。(金澤ゆあさん)

自分の知らないことをたくさん知れた。赤ちゃんは教わっていないのに、自分でおっぱいを飲んだりしてすごいと思った。(大井虎冨さん)

詳しくどうやって赤ちゃんが生まれてくるのかとか、お母さんだけでなく家族の協力があって生まれてきたこととかがわかりました。(佐藤白愛さん)

赤ちゃんもお母さんもがんばって、生まれてくるということがわかりました。(岩崎啓さん)

今を刻め 卒業式予行・6年生へ

みなさんは、震災の年の卒業式のビデオを見せていただいたと聞きました。そこに映っていたのは、真剣な返事、精いっぱい歌声でした。練習どころか式ができない状況で、しかも、日本中でたくさんの方が亡くなっているというニュースを毎日聞いている状況でしたから、卒業生たちは、「卒業式をできるというありがたさ」や「自分たちは生きている」ということを実感しているようでした。そして見えたものは、「卒業式の最中も精いっぱい生きている」という姿でした。

みなさんも、約12年、生きてきました。うれしいことも、つらいことも、全部「自分のためになること」でした。「そのとき」、「そのとき」を自分のためになるように一生懸命がんばる、それが「生きる」、「今を生きる」ということです。

「今」という“時”を逃さず大事に。ですから、卒業式も、ぼんやり座ってはいけません。頭をフル回転させ、心を大いに動かし、これまでを振り返ったり、人への感謝や式の重さを感じたり、そうやって、「今」という時を大切に刻むのです。卒業式という時間を大切にします。

1年生から5年生のみなさん、

修了

おめでとうございます。

おうちの方々や地域の方々、

これまでのご支援・ご協力、

ありがとうございました。

そして、6年生は

明日の卒業式に

向かいます。

今後の予定

3月17日(金) 卒業式

23日(木) 離任式

4月 6日(木) 始業式

7日(金) 入学式